

NSG

GROUP



NSG グループ

2015年3月期第3四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年12月31日)

日本板硝子株式会社
2015年1月30日

マーク・ライオンズ
代表執行役副社長兼CFO

イアン・スミス
グループ・ファイナンシャル・コントローラー

2015年3月期第3四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年12月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

要点：2014年4月 - 2014年12月



- 第3四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 年度末に向けて更なる事業の収益性の改善を見込む

2015年3月期第3四半期決算報告
(2014年4月1日～2014年12月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 4月-12月期	14年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,666	4,512	3%**
無形資産償却前営業利益	167	142	
償却費*	(63)	(58)	
個別開示項目前営業利益	104	84	
個別開示項目	107	(95)	
営業利益(損失)	211	(11)	
金融費用(純額)	(142)	(132)	
持分法による投資利益(損失)	(4)	8	
税引前利益(損失)	65	(135)	
当期利益(損失)	47	(137)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	40	(148)	
EBITDA	412	380	8%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと0%

収益性がさらに改善

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告

7

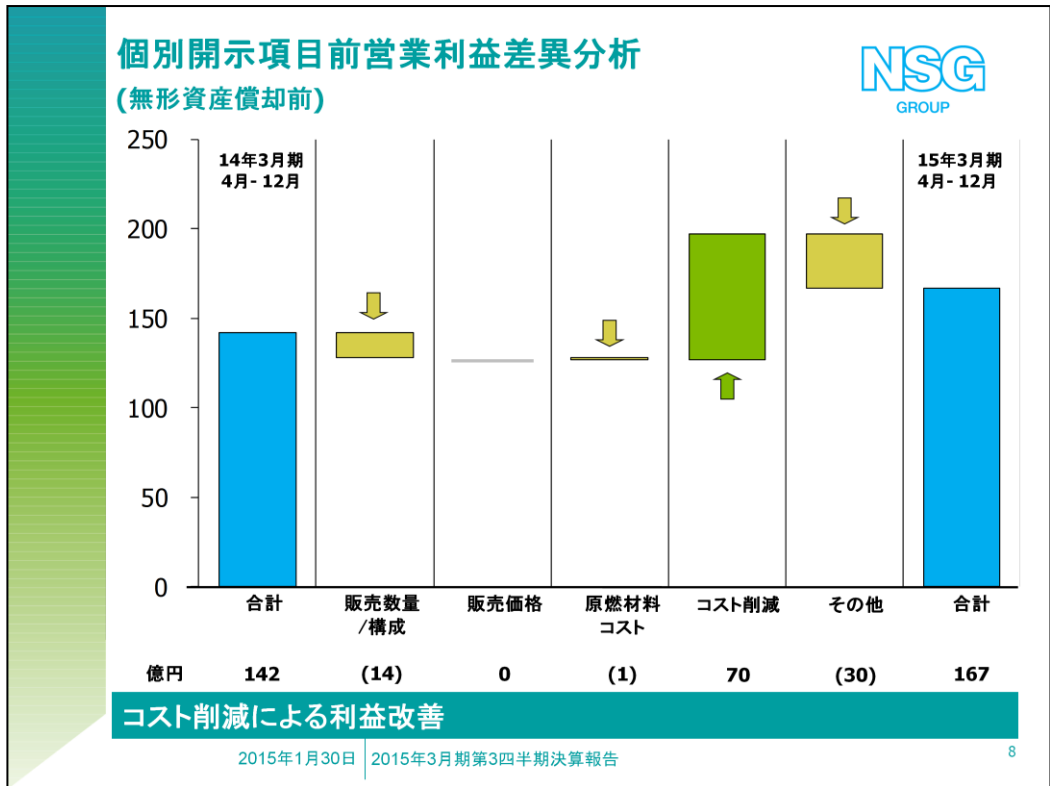
売上高は4,666億円となり、前年同期に比べて3%増加しています。為替変動の影響を除くと、売上高は前年同期とほぼ同じです。

改善している市場と低調な市場が混在しているなか、業績は前年同期と比較して改善しています。

個別開示項目は、残存しているリストラクチャリング施策による影響と第2四半期に発生した2つの個別案件による収益を含んでいます。

金融費用の純額は増加しています。持分法による投資損益は、ロシアのジョイントベンチャーにて認識した為替差損の影響を受けました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、黒字となりました。



販売数量ですが、改善している地域と低調な地域が混在しています。北米などの一部の市場で見られた改善は、南米や消費増税による影響を受けた日本の建築用ガラス事業などの低調によって相殺されました。

販売価格は、主要な地域で安定的に推移しました。投入コストは、前年と同様の水準でした。

コスト削減による効果は、計画に沿ったかたちで発現しています。

「その他」はマイナスになっていますが、これは主に前年に認識した一過性の要因による収益に起因しています。

連結キャッシュ・フロー



	15年3月期 4月-12月期 (億円)	14年3月期 4月-12月期 (億円)
当期利益(損失)	47	(137)
減価償却費	312	302
運転資本の増減	(79)	(59)
法人所得税支払額	(33)	(27)
有形固定資産除売却損益	(48)	(3)
投資の分類変更による評価益	(133)	-
その他	(90)	(131)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(24)	(55)
固定資産の取得	(218)	(161)
その他	49	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	(169)	(112)
フリー・キャッシュ・フロー	(193)	(167)

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告

9

営業キャッシュ・フローはマイナスとなりましたが、事業収益は改善しています。

投資キャッシュ・フローは、資本的支出の増加により、支出が増加しました。

第4四半期においてキャッシュ・フローが改善することを見込んでいます。

主要財務指標 (KPI)



	2014年12月末	2014年3月末
ネット借入(億円)	4,059	3,791
ネット借入/EBITDA	7.0x	7.0x
ネット借入/純資産比率	2.0	2.2
	2015年3月期 4月-12月期	2014年3月期 4月-12月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.5x	3.6x
営業利益率*	3.6%	3.2%

*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告

10

「ネット借入/EBITDA」は3月末の水準から変わっていません。ネット借入は増加していますが、EBITDAの改善によって相殺されています。

このスライドの下部で表示されている損益計算書関連の指標ですが、引き続き収益が改善していることを示しています。

2015年3月期第3四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年12月31日)



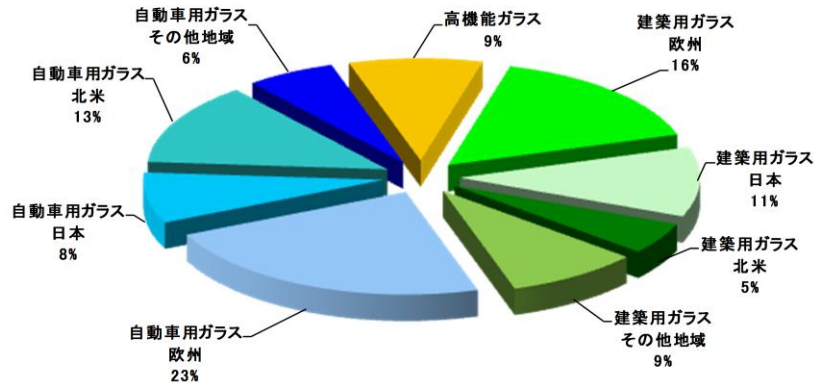
アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

事業別売上高



4,666億円



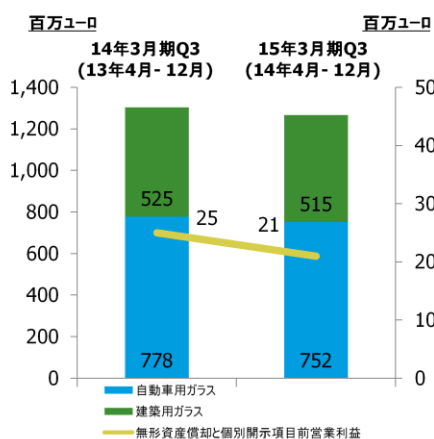
2015年3月期
(4月 - 12月)

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告

12

当社グループの売上高の構成比ですが、欧州が39%、日本で25%、北米で18%、その他の地域で18%、となっています。

欧州 2014年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 市場状況は低調だが安定的に推移
- 利益水準は前年並み

自動車用ガラス事業

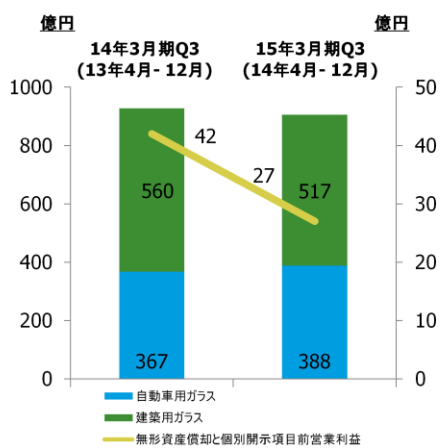
- 西欧地域において、乗用車の累計販売台数が前年を上回る
- 補修(AGR)用ガラスの数量は減少

欧州の建築用ガラス市場の需要は安定的でした。利益水準も前年並みでした。

自動車用ガラスですが、新車販売台数は西欧で改善の兆しが見られた一方で、東欧は低調でした。

補修(AGR)用ガラスの数量は、昨年の暖冬の影響により減少しています。

日本 2014年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 消費増税により数量減
- 住宅エコポイント制度の実施を見越した需要に弱さが見られるが、長期的見通しは引き続きポジティブ

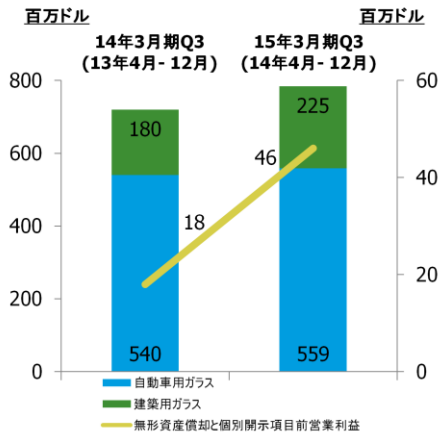
自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの数量は、消費増税にかかわらず堅調
- 投入コストの増加が利益に影響

建築用ガラス事業では、消費増税と住宅エコポイント制度導入の発表により需要が軟化しましたが、事業を取り巻く長期的見通しは、引き続きポジティブなものとなっています。

自動車用ガラスの新車(OE)事業では、消費増税にも関わらず堅調な需要により、前年より数量が増加しています。一方、投入コストの増加が、利益に影響を与えています。

北米 2014年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 売上、利益ともに前年比改善
- 国内およびソーラー用ガラスの需要が改善し数量増加
- 国内価格水準は前年度を上回る

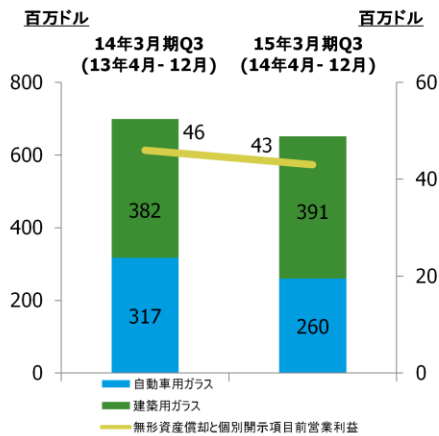
自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用市場の数量は引き続き増加
- 補修(AGR)用ガラスは需要旺盛

建築用ガラスの数量は、国内およびソーラー用ガラスの需要の改善により、増加しています。価格水準も前年度を上回っています。

自動車用OEガラスの数量は、引き続き増加しています。AGR事業は昨年の厳冬による需要増加を享受しています。

その他地域 2014年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 東南アジアは国内需要改善およびソーラー用ガラス増加により堅調な市場

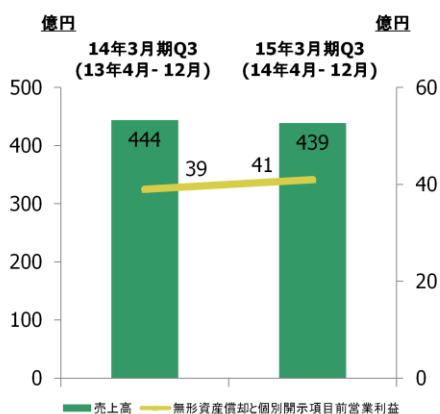
自動車用ガラス事業

- 南米の市場は引き続き低調に推移

建築用ガラス事業では、東南アジアにおける需要の改善とベトナムから出荷されるソーラー用ガラスの増加によって好調でしたが、その一部が南米の低調の影響によって相殺されました。

南米の自動車用ガラス市場は、引き続き低調に推移しています。

高機能ガラス事業 2014年3月期第3四半期との比較



高機能ガラス事業

- オフィス向けプリンター用レンズの需要が堅調
- グラスコードは前年並みの数量
- ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けている
- 前年のLCD関連子会社売却により薄板ガラスは数量減少

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告

17

高機能ガラス事業の売上高は、前年と同様の水準でした。

ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けましたが、その影響はオフィス向けプリンター用レンズの需要の改善によって相殺されました。

グラスコードの市場は前年と同様の水準で推移しました。

- 市場状況に改善と低調が混在するなか、当社業績は持続的に回復
 - 力強い北米の市場
 - ソーラー市況の回復
 - 欧州の市場は低調だが安定的
 - 日本の自動車用ガラス市場は一定の水準を維持、建築用ガラス市場は住宅エコポイント制度の実施により回復の可能性
 - リストラクチャリング施策の効果発現が継続

マーケットの状況ですが、改善と低調が混在しています。

特に、北米とソーラーは、市場における需要の増加に伴い、力強さを見せています。

欧州の市場は低調ながら、安定的に推移していますが、まだ本格的な市況の回復には至っていません。

日本の市場は、改善と低調が混在しています。年度の初めにおける消費増税の影響により、建築用ガラスの数量が減少している一方で、自動車用ガラスの数量は堅調でした。

当社グループが事業を行っているそれぞれの地域で、リストラクチャリング施策の効果が計画通り発現しています。

2015年3月期第3四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年12月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

- 第3四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 年度末に向けて更なる事業の収益性の改善を見込む
- 通期業績見通しは変更なし

グループ全体で取組んできたリストラクチャリング施策の効果が引き続き寄与しており、利益は前年より改善しています。

全体として、市場の状況は、低調な地域と改善している地域が混在しています。

事業の収益性は、年度末に向けて更に改善することを見込んでいます。

通期見通しは変更していません。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2014年4月1日～2014年12月31日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	517	725	239	417	1,898
自動車用ガラス	388	1,059	596	277	2,320
高機能ガラス	234	59	9	137	439
その他	8	1	0	0	9
合計	1,147	1,844	844	831	4,666

償却前営業利益*
(2014年4月1日～2014年12月31日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	101	50	41	(25)	167

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
営業利益*	36	37	45	49	167

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

為替レート



	2014年3月期 4月-12月	2015年3月期 4月-12月
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	156	176
円/ユーロ	132	141
円/米ドル	99	107
期末為替レート:		
円/英ポンド	174	187
円/ユーロ	145	145
円/米ドル	105	121

個別開示項目



(億円)

	15年3月期 4月-12月期
投資の分類変更による評価益	133
有形固定資産等の売却による利益	45
リストラクチャリング費用	(65)
その他	(6)
	107

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告

26

個別開示項目には、残存しているリストラクチャリング施策による影響と合わせて、第2四半期に計上した2つの個別案件による収益が含まれています。

まず、「投資の分類変更による評価益」についてですが、

これは中国のガラス会社、SYP社のマネジメントに対する当社グループの関与の度合が減少したことによるものです。SYP社に対して重要な影響力を有しなくなったことにより、当社グループが保有するSYP社の出資持分を金融資産として組替える会計処理の変更が必要となりました。従来は、SYP社の出資持分を「持分法で会計処理される投資」として計上していました。

当社グループが保有するSYP社の持分を市場価格に基づいて評価を行った結果、133億円の収益を計上しました。

次に、「有形固定資産等の売却による利益」についてですが、これは兵庫県伊丹市所在の土地について、セール・アンド・リースバック取引を実施したことによって、計上したものです。

NSG

GROUP